

主催:

矯正と 図書館 サービス 連絡会

講師紹介:

梅光学院大学教授。
児童文学作家・絵本
作家。2013年、
「チャーシューの月」で
第53回日本児童文学
者協会賞受賞。
30年にわたって「絵本
の読みあい」運動を続
ける。今回は女子刑
務所における試みに
ついてお話いただく。

【会場への交通アクセス】

京浜急行・日ノ出町駅徒歩5分

JR、市営地下鉄線・桜木町駅徒歩10分

市営バス停「野毛坂」下車徒歩1分(103、
292系統)同「中央図書館」下車徒歩1分
(89系統)

絵本でつなぐ心と心

第15回図書館総合展

フォーラム参加企画

2013年10月31日(木)

午前10時30分ー12時

横浜市中心図書館

「絆プログラム」とは？

講師:

村中李衣さん

(むらなかりえ)

参加費:無料

後援:

法務省、

(公財)矯正協会、

(社)日本図書館協会、

(公財)文字・活字文化推進機構



申し込み問い合わせ先

kyotoren@gmail.com

所属氏名を添えてお申し込み下さい



どのような環境に置かれていても、読書を通じて自己啓発をおこない知識を獲得する機会を保障していくことは、ふつうに暮らしている人であろうと困難のなかにある人であろうと重要なことだと知られています。

では、刑務所や少年院にいる人々はどうでしょう？ 読書の機会は十分でしょうか？ 矯正に読書が役立っているでしょうか？ 実際には多くの受刑者や院生が読書を通じて自分の人生を見つめ直し、立ち直りのきっかけをつかんでいます。他方で、彼らのための読書環境は制度的にまだまだ未整備であると指摘されています。

矯正と図書館サービス連絡会（代表：藤本哲也・常盤大学教授・中央大学名誉教授）は、2010年9月に矯正施設への読書支援や読書環境整備を考えようという有志が集まって出来た、新しいNPOです。図書館員、出版人、法律家、刑事政策研究者などが参加しています。多くの方々の連絡会への参加をお待ちしています。

【参考】

矯正と図書館サービス連絡会ブログ

<http://kyotoren.cocolog-nifty.com/>

中根憲一『刑務所図書館』（2010、出版ニュース社）

指宿信「矯正と図書館サービス連絡会の発足」出版ニュース2010年9月上旬号

脇谷邦子&日置将之「少年院と図書館サービス」大阪府立図書館紀要35号（2006年3月31日刊）

http://www.library.pref.osaka.jp/lib/kiyo_pdf/kiyo3502.pdf